

令和3年10月17日執行

横手市長選挙 選挙公報

横手市選挙管理委員会

対話重視、市民が主役の市政運営
横手市長候補者【41歳】



NEXT
STAGE



WEB

人口が減っても、一人ひとり豊かなまちに
みんなが支え合い助け合う和のまちに

日々地域を歩く中で、市民生活の基盤を支える身近なものへの手当てが圧倒的に不足していることを痛感しています。見栄えする新しいものに前のめりになる一方で、市民生活を置き去りにする市政が今後も続いていいのでしょうか？私は、市民に寄り添い、毎日額に汗して頑張る市民の背中をそっと押す、そんな温かい市政運営を実現することをお約束いたします。

共に、未来を。皆さまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

確かなビジョンと揺るぎない信念 奥山豊和

プロフィール

昭和55年3月8日生まれ(41歳)
農業(家族4人で水稲約16ha)
大雄中学校、大曲高校、東北学院大学卒業。

大曲高校3年時、ハンマー投げで県総体・東北大会で優勝し、京都インターハイに出場。平成14年～金田勝年議員秘書(地元・国会)を務め、平成25年にUターン。同年～横手市議会議員2期。この間、全国若手市議会議員の会会長を歴任。

現場に光を、身近なものこそ大切に

あなたの1票を力に、市民に寄り添う当たり前の市政運営を取り戻します。

1 地域要望に応えるための3億円

現場に十分な予算がないことによって、市民からの切実な要望に応えきれない状態が放置され続けています。山積する地域要望に対応するために、総額3億円の予算を各地域局に配分し、生活道路や身近な施設等の補修を着実に進めます。

2 市民の命を守るための防災行政無線の整備更新

アナログ防災行政無線の使用期限が迫っている中、地域の声を踏まえ議会の総意として市に対し再三申し入れをしてきたにもかかわらず、大きな財政負担を理由に一切聞く耳を持たず廃止することとしています。災害から市民の命を守るために、情報伝達手段として有効な防災行政無線の整備更新を行います。

3 地域資源を活かすための休館温泉施設の復活

公共温泉民間譲渡とその後の施設返還による休館は、雇用が守られず地域の光を消してしまう結果となりました。議決責任を痛感し深くお詫び申し上げます。この反省を踏まえ、今後は市有温泉の民間譲渡は行わず民間活力と市民協働により地域の拠点施設として有効活用し、休業中の施設については、まずは「日帰り温泉」の再開に全力を尽くします。

4 地域経済の基盤を支えるための低米価・新型コロナ対策

低米価対策として、今後も農業経営が持続できるような独自支援を行います。コロナ禍により疲弊する市内事業者を応援し、全市民的な視点で、広く市民に行き届く経済対策を講じます。



おく
やま
奥山とよかず

感染症や大規模災害時など有事においても機能する
安心できる医療体制の維持

地域で高齢者を支える一体的なサービスを提供するシステム(地域包括ケアシステム)及び医療の西部地区の要となっている大森病院を始めとする市内3病院(平鹿総合病院、市立横手病院、市立大森病院)が持つそれぞれの役割を支援し、横手市医師会、横手市歯科医師会などと連携しながら、安心できる医療体制(有事においても機能する)を維持していきます。

新型コロナワクチン接種の推進にご理解ご協力を頂きありがとうございます！
国難を乗り越える。ここが踏ん張りどころ、勝負どころです。

医師、看護師など医療従事者ならびにそのご家族。介護士など福祉従事者とそのご家族。大変なご苦労、ご心労の中でのご奮闘に敬意とご慰労を申し上げます。

そして横手市民の皆様の新型コロナ感染症拡大防止を意識した生活へのご配慮に感謝します。コロナ禍に伴う経済活動、日常生活への不自由な心からお見舞い申し上げます。

みんなの力で この危機を乗り越え
平静を取り戻し 横手市をもっと前へ!!

従事する皆様に大感謝!

新型コロナウイルス感染症対応に

(大雪、洪水など)への対応や

たび重なる大規模自然災害



たか
はし
だ
高橋大

令和3年10月17日執行

横手市長選挙 選挙公報

横手市選挙管理委員会

やっと・セブンティー ここからだ！

バックの巨象(虚像?)に挑むアリ1匹

争点は新体育館・新市民会館の建設の是非！！



加藤 完二

公約II契約と解釈しています。契約は五分五分です。有権者が立候補者を選択するように私も契約相手を選びます。

① 「横手コンジョウ」の持ち主は「新想よこて創造」の為に障壁となるため私の契約相手とはなりません。他の候補者を選んで下さい。

② 候補者の公約を熟読して判断して下さい。

① ②の条件下で左記の契約内容を順守します。

貴方との契約内容です

○新体育館、新市民会館の建設は白紙 大きなランニングコストがのし掛かり、北海道夕張市が破綻の要因になった「箱モノ行政」は白紙にします。

○ジャン・GOよこて雪物語の履行 排雪、消雪対策に万全を期すと同時に雪の利活用を促進します。

○市職員の体質および組織体質の改善 約一億二千六百万秒使用し、有能な職員を優秀にします。

○特許権等の取得に関わる経費の助成 発想、販売までを横手市内で完結するメーカーを育成します。

○正しい歩行方の実践 健康寿命が延び各種スポーツの強化に繋がります。

○「横手柿」とブランド名が有る柿の利活用 無残にも見捨てられている柿「もったいない」。有効利活用します。

○選挙費用税金負担分の削減 選挙とは「政治で生きる人」ではなく「政治の為に生きる人」の選択です。ポスター貼付、選挙カー運行で「政治の為に生きる」適格者を選択する事はできず、使用する税金は無駄です。

○クロスカントリースキーオリンピック選手育成 簡単ではないが、難しくはありません。

○横手市民平均所得の年収二百二十七万円を市長報酬として頂きます。

スローガンの公約は立候補者の逃げと写り好みませんが...

○人口減少対策は他から呼び込む事ではありません。地元住民の事を考えることが必要な政策です。

○原理原則(市民の為に)の順守および目的の把握し、目的の達成を優先します。

○肩書や経済的優位性は一切考慮しません。貴方の意見、協力を惜しまず出してください。職員を仲介させず、私が判断し有用な意見は採用させていただきます。

令和三年十月吉日

(甲)

加藤 完二



人口減少と税収減少が重なり今後はいばらの道です。無駄な税金の支出を無くすような政策が必要です。スーパーマンはいません。賛否は必ずあり全ての市民に歓迎されるスーパー市長は存在しません。旧横手市長のような御曹司ではないし、選挙に必要とされる地盤(組織力)看板(肩書)靴(資金力)で有るのは少しの看板のみです。変化球は投げられず、ヘナチョコ直球のみですが、横手の明日~未来の為に私に力を貸してください。貴方が私に投票しても経済的利益を受ける事は出来ませんが「新想よこて創造」の創造者になる事が出来ます。貴方の熟考を期待します。

ポスターは貼りません。またコロナ過中でもあり選挙カーの運行もしません。ブログ等のSNSのみの選挙運動です。SNSが苦手の人に詳細を伝えてもらえると助かります。ご理解ご協力をお願いします。

プロフィール、政策等の詳細は <https://加藤完二.com>
<https://崩れる横手市.com>

QRコードを読み取って下さい。



投票日は10月17日(日)です

投票時間は午前7時から午後7時まで

(狙半内地域交流センターは午後6時まで)